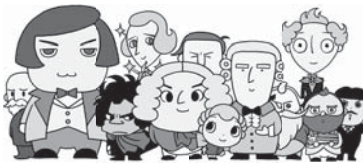
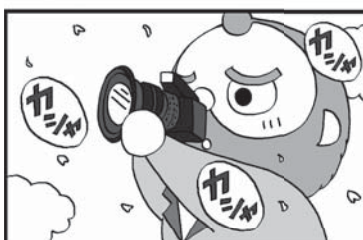


シェアハウス No.5
どねみふあ荘



お花見

漫画：東園子



新年度が始まりました。

今年度から、「勇気づけのピアノレッスン」をパワーアップ！紙面を通してだけでなく、実際に読者の皆さんにお会い出来るイベントを計画中です。詳細は次号にて発表の予定。どうぞお楽しみに。

「他人と比較してはいけない。
ほんのわずかでもできている部分を見つけ、
それに気づかせることが重要だ。」

(アルフレッド・アドラー『人生に革命が起きる』00の言葉』ダイヤモンド社出版 小倉広著より)

かつて教員をしていた頃、実際にあった話です。「うちの子どもに、良いところなど一つありません。」と、面談で言い切ったお母さんがいらっしゃいました。今思い返せば、その方は、謙遜してそんな風におっしゃったのだと思いますが、当時の私は、この言葉を聞いて、とてもショックを受けました。そして最近、私が保護者対象に行ったセミナーのワークでも、似たようなことがありました。「先生、うちの子の良いところが見つかりません。」と、あるお母さん。よく話を聞いてみると、その理由がなんとなくわかってきました。「うちの子は、学校の成績も良くないし、運動もできません。ピアノだって、長い間習っているのに他のお子さんに比べて全然上達しないんです。」と、おっしゃるのです。我が子を良く言うなんて、自慢しているようで気恥ずかしいとも思っているのでしょうか。それとも、他のお子さん比べて、自分の子は劣っていると感じているのかしら、とも思いました。このように、子どもの良い面をすぐには思いつかない方が意外に多いことを、私はとても残念に思っています。「多くの方が他人との比較の中で、優劣をつけて生きている」と、アドラーは指摘しています。私たちおとなは子どもを伸ばす手段として、他人と比較し、叱咤激励をすることが、時としてあると思います。が、それによって子どもが良くなることはありません。むしろ、傷つき自信を失うのです。場合によっては問題行動を起こすようになる可能性もあります。では、どのようにすれば良いのでしょうか。それは、私たちおとなが、他の誰かと比較して、子どもを褒めたりおだてたりするのはなく、ほんのわずかでも、その子自身の良い点を見つけ認めるのです(このことを、私の師匠である岩井俊憲先生は「良いダシ」と言っています)。できないところではなく、できているところに注目する「良いダシ」は、子どもの自信や意欲に繋がります。今回は、その具体的な事例について書いてみたいと思います。

松井美香 まつい・みか

「勇気づけの音楽家」東京音楽大学ピアノ専攻卒業。学研「愛のピアノレッスン」にて手記を執筆。
<HP>松井美香ピアノ教室 <http://matsuimika-piano.net>
<ブログ>ピアノの先生のためのモチベーションアップ術 <http://ameblo.jp/makeachangewithlove>
*無料メルマガ好評配信中(ご登録はブログにてお知らせしています)

勇気づけの
ピアノレッスン

第26回

学研
おんがく通信

Web版もある
バックナンバーが
閲覧できる!
ウェブならではの
情報が満載!

4月号

2016
年3月25日

Gakken 株式会社学研プラス 音楽事業室
〒141-8415 東京都品川区西五反田2-11-8 TEL: 03-6431-1220

学研 おんがく.net
<http://www.gakken.jp/ongaku/>
電子書籍ストア 学研BookBeyond
<http://bookbeyond.jp/>
twitter @gakken_music
Facebook gakken.music

いつ使うの?と思うくらい特殊な釘をホームセンターで購入しました。板どうしをつなげる為の波状の釘です。たまたまテレビで見かけて、その後購入。今回はチェストなど少し大きいものに挑戦しようと思います。新しい物事に出会ったときってワクワクしますね!(お)

作曲家×名器×名曲 ~ホンモノの音をめざして~

近ごろのピアノ・レッスンでは、譜面を追って演奏するだけではなく、たとえば「アナリーゼ=曲の仕組みを理解する」、や「4期の考え方=曲が成立した時代背景を知る」、といった、“さらに一歩上の演奏表現を目指す”ための、さまざまな試みが行われているように感じられます。作曲家のオリジナリティに少しでも近づこうと、時代背景を考え、曲の構造の理解を深めるなら、同時に、彼(または彼女)の使っていた楽器にも想いを馳せる事が必要なのではないでしょうか。なにかを語るときに“言語”と“自らの声”が必要であるように、ピアノ名曲が生まれるときには作曲家の傍らにある“楽器=ピアノ”が必要不可欠なのです。楽器の発達が発達を促していく…というように、鍵盤楽器の発達と鍵盤曲の発展が相互に作用し合っていたのは間違いありません。そして、その19世紀前後の転換期に存在し、大きく舵を切らせた一人が、作曲家、ピアニスト、指揮者、教育家…など多彩な活動を行ったリストです。同じ時代に「ピアノ」という楽器にこだわり抜いて作品を遺したショパンとリストとの大きな違いには、その指向性が異なっていたという事はもちろんですが、愛用していた楽器が異なった事も少なからず影響していると言えるでしょう。

後半から19世紀にかけて過渡期にあったピアノの音色—その音色はウィーンの馥郁たる香気に満ちています—と響きを愛し、そしてリストはモダン・ピアノの音域と音量を要求したのです。

19世紀後半、モダン・ピアノが生産されるようになる以前の作曲家たちの多くが、自身のイメージを、現代の私たちが鳴らすことができない楽器の音で紡ぎだしている…という事を想像すれば、おのずと、いま私たちが使っているモダン・ピアノでの再現には工夫が必要になり、その工夫が、“より一歩上の演奏表現”につながるのではないのでしょうか。こうした“時代楽器”への意識づけの活動を長く行っていらっしゃるのが「名器から生まれた名曲」シリーズ著者・久元祐子先生です。先生の著書やセミナーには“一歩上の演奏表現”のアイデアがあふれています。(か)

来る4月24日(日)、東京・よみうり大手町ホールでのピティナ・ピアノ指導セミナーで久元祐子先生のお話があります。ポスターセッションも開催され、間近で先生のお話をうかがえるまたとないチャンスです!

指導者の祭典! ピティナ・ピアノ指導セミナー (Vol.49)

日時: 2016年4月24日(日) 第1講座
指導法プレゼンテーション: 11:00~12:50のなかでのお話(10分程度)
・「名器から生まれた名曲 モーツァルトからリストへ」久元祐子先生
「古典、ロマンの作曲家、そして近代に入ってスタインウェイが席捲していくあたりまで、広く、大きな潮流をお話したいと思います。」
ポスターセッション: 13:10~14:35
お問合せ、お申し込みは
一般社団法人全日本ピアノ指導者協会 (PTNA)
TEL:03-3944-1583 FAX:03-3499-8838 www.piano.or.jp

書籍
新発売



藤重先生と活水吹部7か月の奇跡
きばれ! 長崎ブラバンガールズ
著: オザワ部長 藤重佳久

藤重佳久先生の“奇跡の一年”に密着取材!
その指導の根幹にあるものとは?
オザワ部長が目にしたミラクルとは……!?

■四六判/212頁/本体価格1,300円(税別)

オザワ部長の吹奏楽関連書好評発売中!

オザワ部長の吹奏楽物語
翔べ! 私たちのコンクール

■四六判/220頁/
本体価格1,000円(税別)

モシロ吹奏楽部大事典!
あるある吹ペディア

■四六判/216頁/
本体価格1,200円(税別)

糸籠集部のつばせいったー!

春の陽気に呼応するかのように花粉も飛びまくり!
サーキットもゴルフコースも山の中が多くて、
レジャーなのに気合と覚悟が必要だなんて。。。涙&鼻水(ま)

Tsubuyaitter..... follow me!

twitter [@gakken_music](https://twitter.com/gakken_music) 日々のよしなしごとや最新情報をツイートしています!

ピアノの森から

最終回
第23回

『ピアノの森』の第1巻~第3巻の巻末に、“新訂版”となってから新たに収録された“連弾の曲”を、半年ほどかけてご紹介していますが、今回は前回に続き、第3巻収録の伝 J.S. バッハ (ベッツォールト) 作曲(メヌエット長調)の“変奏曲”のご紹介です。おなじみの愛らしい曲が、田丸先生の魔法のアレンジで、「主題」では音域が広がり荘厳に、「変奏」ではクラシカルな雰囲気を残しつつジャジーに…と、二人で演奏する連弾ならではの楽しさを味わえる、素敵なお連弾曲になっています。馴染み深い名曲ですから、“連弾”での呼吸の感覚やアンサンブルの醍醐味を味わうのうってつけです! さて、2年にわたって連載して参りましたこのコーナーも、とうとう今回が最終回です! 田丸信明先生の素敵なお話は、このコーナーだけではご紹介しきれません。オリジナル曲、アレンジ曲…、きらめく星たちのようなたくさんのお曲から、ぜひご自分のお好みの曲を探してみてくださいね♪(か)

今月のあかね先生

PICK UP!

『ちいさなおんがくかい』



先月号では「PICK UP! 受講者の声」だったこのコーナー。今回も引き続き「PICK UP!」シリーズと称して、あかね先生の教材についてお客様から寄せられた感想を紹介していきたいと思ひます。今月は、丸子あかね先生の導入教材シリーズより『ちいさなおんがくかい』（全2巻）をご紹介します。（ゆ）

『ちいさなおんがくかい』って？

『ちいさなおんがくかい』は、簡単な繰り返し演奏と、多彩な音色やリズムを持った伴奏によって、連弾を体験できる教材です。たった1音の演奏で、「ピアノって楽しい!」と子どもに感じてもらえるような、とっておきのオリジナル曲を収録しました。はじめて（ゆ）が聴いたときは「単純な繰り返し演奏なのに、伴奏次第でこんなにおしゃれな曲になってしまうのか…!!」と衝撃を受けたほど。みなさま、想像してみてください。「ど」の音で鳥のさえずりが聞こえるような穏やかな森の朝のようすが、「み」の音でキャンディーのようにキュートなワルツの世界が広がるなんて、一体どんな教材なのか…気になりますか？ぜひ教材を手にとってみてください。次号でも『ちいさなおんがくかい』の魅力をお伝えします♪

<お客様の感想>

小さいうちから色々な高さの音や指使いを体験させることができ、単純な繰り返し演奏でも伴奏によって素敵な曲となりイメージを膨らませることができる教材です。絵本のようなイラストも子どもたちに好評です！

webで試聴できます！ [ちいさなおんがくかい](#)

- *今月のセミナースケジュール*
- 4/15 (金)：[千葉県/木更津] コンドー楽器 コンドーサロン『子どもが飽きない「リズム」のレッスン』<リズム・セミナー/導入編>
 - 4/19 (火)：[千葉県/佐倉] 伊藤楽器 白井センター『ピアノ・テクニックのレッスン法～初歩からすてきな音をならしましょう～』<テクニック・セミナー/導入編 (第1回)>
 - 4/26 (火)：[栃木県/小山] ヤマハミュージックリテイリング 小山店『子どもが飽きない「リズム」のレッスン』<リズム・セミナー/導入編>

発掘！ オリジナル攻略法

No.4

～8分音符3つの音型の弾き方～

(ジーク) テレマン作曲
『新選ピアノ名曲120 初級 (P.14)』収録

リズムカルかつシンプルに(様式)

テレマンは後期バロック時代に活躍したドイツ出身の大作曲家。あらゆる分野にわたってたくさんの作品を残しました。J.S.バッハをしのぐ名声を博したといわれている、一度は弾いておきたい作曲家のひとりです。ジークとは、16世紀にイギリスで流行した踊りを起源とする舞曲。バロック期に多楽章作品の楽章として用いられました。複合3拍子(8分の6、4分の6拍子)で広い音程をもつ軽快な音楽であることが特徴です。Vivaceという速度標語に着目し、2拍子のリズムにうまく乗った軽快な演奏を目指しましょう。第①部が第1～4、5～8小節(それぞれ同じ)、第②部が第9～12、13～16小節です。大きく2つの部分からできている構成を二部形式と呼びます。ヨーロッパ民謡、ピアノ小品、日本の唱歌などによく用いられるシンプルな形式ですから、簡潔にまとめてください。

転調に着目しよう(理論)

この曲では、部分動機のリズムが終始繰り返されます。2、3番目の8分音符を軽く弾き、曲全体が重くならないようにしてください。第2～4小節(第6～8小節)は二長調に転調しています。臨時記号の#が目印ですね。二長調のV-I-V-Iの和音が連なり、フレーズが終止している点に着目しましょう。第①部、および第②部の前半は、同じフレーズの繰り返しになっています。こうした場合fとpでコントラストをつけるのが基本です。対比を明確にしましょう。pのフレーズに入る前に少し間を取るとうまくいきます。第②部の後半、第13～14小節の和音はI-Vの繰り返しですが、バスとソプラノがd音です。ここはg音に解決しようとしている部分ですから、第15小節の最初で軽く区切りをつけて、残りの部分でしっかりと曲を完結させるように演奏してみましょう。

8分音符3つの音型の弾き方(カラダ)

この曲で習得したいテクニックは、8分音符3つからなる部分動機の弾き方です。この曲だけでなく、多くの曲に使われる音型です。スラーのかかった1つ目の8分音符には、手首を下げ気味にして腕の重みをかけます。2つ目と3つ目の8分音符はスタカートで弾きます。腕の重みは徐々に抜いていくようにしてください。手首は上げ気味になります。



練習はまず、3つの8分音符をレガートでつなぎ、腕の重みのかけ方を工夫します。最初からスタカートで練習すると、手の動きがぎこちなくなるので注意しましょう。

今回はシューマン作曲の〈はじめての悲しみ〉をご紹介します。



黒田篤志 くらだ・あつし

1973年生まれ。早稲田大学修士課程修了。日本アマチュアピアノコンクール7位入賞。出版社にて楽譜と書籍の編集を担当。現在小山市で、大人のピアノ教室「Lento レント」を主宰するかわら、フリーの編集者、ピアニストとして活動中。
<http://ameblo.jp/pianote0519/>

田丸信明先生の新教材、ついに誕生！

無理なく、楽しく。“いまの子どもたち”のために考え抜かれたドリル・シリーズの誕生！シリーズ全巻に解答が付き、自学自習が可能ですので、ピアノ教室でのお持ち帰りワーク＝宿題としておススメ。到達度が一緒に確認できる「シール」スペースも付き、お教室はもちろんまさしく、「おうちでもできる！」教材です。

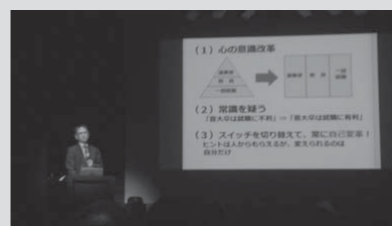
左：おうちでもできる！ おんがくドリル①
右：おうちでもできる！ おんがくワークブック①
各：菊倍 / 1c / 64p
本体価格：各 900円 以下続巻…



第1巻は4月中旬発売！

『「音大卒」の戦い方』出版記念シンポジウムに行ってきました！

去る2月28日に、ヤマハ銀座スタジオ(東京)にて『「音大卒」の戦い方』出版記念シンポジウムが開催されました。内容は、書籍『「音大卒」は武器になる』『「音大卒」の戦い方』(ヤマハミュージックメディア刊)の著者である大内孝夫さんの講話と、各界で活躍されている方々を交えたパネルディスカッションです。講話の中でのひとこま。武蔵野音楽大学の就職課で、多くの学生の進路相談を受けるという大内さん。就職指導のなかで著書を薦めたとき、学生に「これを読んでも演奏はうまくならないでしょ?」と言われてしまったとか。音大事情を物語る、衝撃的な一言でした。



音大生のみなさんは、技術向上のために日々練習を積み重ね、努力されていることと思います。1日のうち5時間以上も練習室に籠るなんてことはよくある話ですよ。たしかにこの本は、

演奏技術を説いたものではないので、すぐに演奏に役立つテクニックはないかもしれません。しかし、音楽の真剣な学びから得たものは様々な道へ通じるものがある、それは一体何なのか…ということが具体的に書かれています。ストイックに練習を重ねることは素晴らしいのですが、自分の適性の見極めることも、これから社会に出て活躍する上で必要不可欠です。就職活動に役立つ情報などもわかり易くまとめられているので、自分を見つめ直すためにも、視野を広げるためにも、ぜひ読んでみてください。私も学生時代に読みたかった～!(の)



『「音大卒」は武器になる』『「音大卒」の戦い方』(ヤマハミュージックメディア刊)
著：大内孝夫
協力：武蔵野音楽大学

つむりの練習手帳

つむりがとうとう、ピアノのレッスンを長期間お休みする事になりましたので、突然ですがこのコーナーは今回をもって一旦終了させていただきます。6年間にわたり、つむりの成長をハラハラしながら見守ってくださってありがとうございました。今後は細々とでも長く続け、いつの日か、もう少し上手になって読者の皆様にお目にかかれる日が来ればと願っています。

(つむり同様それぞれどこではなくなったトホホお兄の代理：つむりママ)

編集部チョイスおすすめの1曲

ようせいのワルツ (田丸信明作曲)
レベル：☆☆☆☆



あれ?妖精が舞い降りてきた??
とってもかわいらしいワルツです。8小節の簡単な弾き渡し奏なので、ピアノをはじめたばかりのお子さんでも楽しめます。

掲載楽譜→
よせのどりーむ2